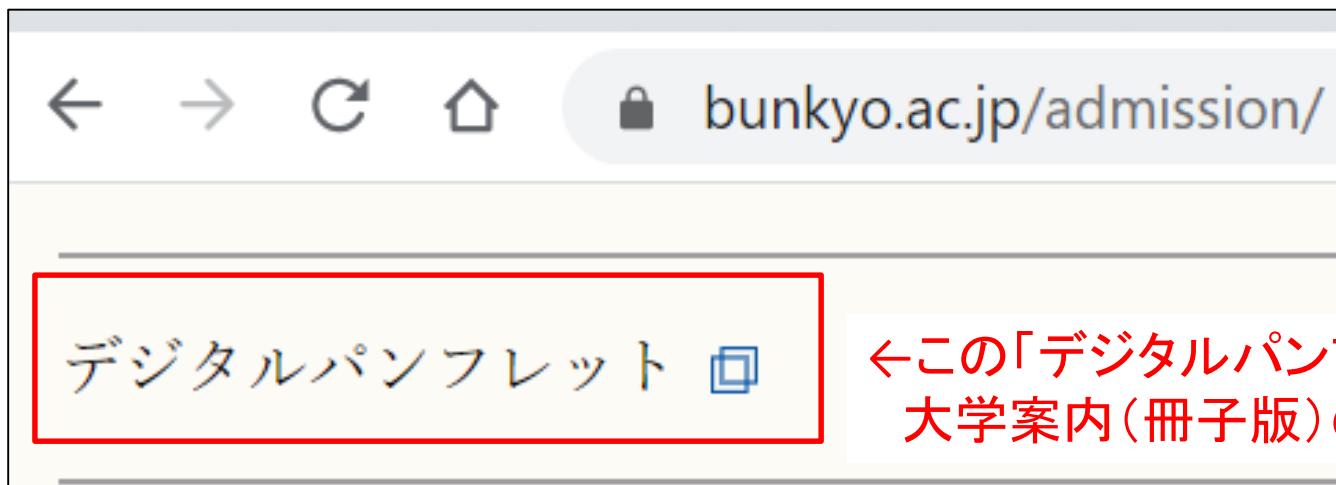


9月27日Webオープンキャンパス

情報学部 質疑応答コーナー

◆大学案内(冊子版)で分かること(再掲)



- 各学科の必修科目・専門科目など →p.68～
- キャリア支援体制, 就職実績のある具体的な企業名 →p.115～
- 奨学金制度(学費一部免除), 奨励金制度(実績に対して給付) →p.120
- 住環境について →p.119

➡ 情報学部のカリキュラムを含め学部紹介動画にて紹介

◆「高校までに学んできてほしいこと」について(再掲)

- ・入学試験要項(共通事項)のアドミッション・ポリシーを参照
- ・文系・理系は一般入試科目の類型(学術的な能力の分類ではない)
→大学入学後は将来に向けて文理融合の考え方の下,
必要なことを学んでいくことが重要 ↑文教大学情報学部創設時からのコンセプト
- ・情報学を学ぶ基礎として教科「情報」を正しく理解しておく
- ・日本語の文章の論理的な読解, 論理的な記述
- ・高校までの学修は確実に行うこと(テスト対策ではなく, 考え方や原理)
- ・PCの操作は基本的な操作とクラウドサービスの利用経験
【入学後】動画編集や画像作成などは専門科目として体系的に学ぶ

◆「総合型選抜」「学校推薦型選抜」について

- ・総合型選抜の課題遂行型とプレゼンテーション型の課題
 - 入学試験要項(総合型選抜)で確認
 - 課題内容に自分の言葉で答えられることが重要

- ・小論文について
 - 情報システム学科の指定校推薦・付属校推薦は論題を入学試験要項に記載
 - 公募制推薦は大学ホームページで過去問題公開

- ・面接・口頭試問について
 - 教科の試験を行うようなことはない
 - 今までの実績や自分で用意した答えを具体的に説明する(対策については、各自で本を探するなど努力の跡も評価)

◆「情報学部の学び」について

- ・理工系の学部・学科のように「情報工学」「計算機工学」に特化していない
 →情報学は理工学の範疇に収まるものではない、
 という情報学部設立時の理念
- ・専門科目は1年次から必要性や難易度に合わせて体系的に配置
 →開講セメスター以降は各自の進度に合わせて履修することが可能
- ・PC操作については初歩的な内容から順に専門的に
 →授業時間外のPC教室やオープンPC教室、図書館のラーニングスクエアなどで自習が可能

◆「各学科での学び」について

【情報システム学科】

- ・IPAが実施する情報技術者試験のシラバスを意識した授業科目，CG-ARTSの検定に対応できる授業科目もあり→資格による単位認定科目や学科の奨励金にて奨励
- ・中・高の数学の教職(教科)科目は，体系的に数Ⅲ・数Cの範囲までを学ぶ必要がある

【情報社会学科】

- ・情報社会の発展に寄与できる人材を育成(資格取得支援に関わる科目もあり)
- ・教育課程編成上の参照基準でいうと「データ解析」，「ソフトウェア工学」，「情報技術」に関わる科目が多い

【メディア表現学科】 → [オリジナルパンフレット](#)もオンラインで公開中！

- ・社会学を基盤として，メディアやコンテンツをどの様に使うかを学ぶ
- ・充実したのPC環境，スタジオ設備(映像，音声，パフォーマンス)を使った演習
→プロ仕様のソフトウェア，映像スタジオ・音声スタジオの機材，貸し出しのカメラ等
- ・座学に加え，映像制作，出版・編集，フィールドワークや現場見学を伴った学び